

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月

事業所名 児童・放課後等デイサービス かぶとむし

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				基準は満たしているが定員の利用があると狭さを感じるのので、事業所斜め向かいの公園を活用しスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	○			送迎時も人員欠如にならないように配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		廊下と部屋の仕切りの段差を無くす工夫をしています。	玄関の階段2段に手すりをつけるかは検討中です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			朝礼にて日々の改善は行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				今回の評価で伝えきれていない個所があった為、ホームページやSNSを使い周知の徹底を行います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			事業所内での研修や外部研修の参加を行っています。	人員基準を満たしたうえで積極的に研修に参加したいと考えています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			職員で情報を共有し分析を行い計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			利用開始前の契約時にアセスメントシートを作成しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			参加型の活動の中でも個別な支援を提供できるよう工夫しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定曜日の利用者に対して様々な活動イベントを提供しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			限られた利用時間を活かせるように準備しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			主に朝礼時に確認を取るが、長期休み時は長期休み前に役割分担を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		帰りの送迎の関係で出来るときと出来ない時があるが、翌日の朝礼時に振り返りを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個別支援記録の下部に支援計画項目を記載し常に計画を確認しつつ記録を取ることができるようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			送迎時の会話等で見直しの必要性があると判断した場合、見直しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				地域交流の機会の提供の項目が弱いので検討中です。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者の他に主として対応している職員も同席しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時に学校から下校時間のプリントを頂いたり、HPを確認したり保護者様から連絡を頂いたり調整しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在該当児はいません。 もし受け入れる場合は連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在該当児はいません。 該当児がいる場合は保護者様同意のもと情報を提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		子どもたちの支援に影響が出ない範囲で研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	特別機会を設けていませんが、児童館や公園で他の子どもたちと交流することがあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			主に連絡帳や送迎時に伝え合い、共通理解を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			必要とあればこれからも実施していきたいと考えています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			必要とあればこれからも実施していきたいと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	今年度は行いませんでしたが、感染症対策や環境が整い次第イベントを企画したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		特別苦情はないですが、あった場合は迅速かつ適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報やHPを更新することで情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		職員への周知は行っているが保護者様への周知はされていないので課題として対応します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員で話したことを事業所内でも周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		該当児はいません。 やむを得ず身体拘束を行う場合は保護者様に十分説明了解を得たうえで、計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書や保護者様の指示に基づき対応していきたいと考えています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事業所内でもっと積極的に活用し共有していきたいと考えています。